

ESD-J 会員のみなさま、

急な話で恐縮ですが、本日日本時間の午後 3 時～4 時 15 分にかけて国連アジア太平洋地域経済社会委員会が主催するアジア太平洋持続化の合う生フォーラム (APFSD) のサイドイベントとして、日本の環境省主催で「アジア太平洋地域におけるシナジー効果のあるアプローチの促進： 3つの危機への取り組み」が以下の通り開催されます。

日時：2024 年 2 月 20 日 15:00～16:15 (日本時間)

方式：オンライン方式

[参加申込](#)：

日英同時通訳付

世界は、気候変動、生物多様性の損失、汚染という 3 つのグローバル危機に直面しており、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成が脅かされています。これら 3 つの危機は、持続可能な開発のあらゆる側面において、シナジー効果のあるアプローチによって統合的に対処できる可能性があります。近年、国際社会はシナジーを効果的に実施するための確実な計画と報告の枠組みを必要としています。このような背景から、日本は UNEA-6 に「気候変動、生物多様性の損失、汚染という相互に関連するグローバル危機に対処し、持続可能な開発を支援するためのシナジー的アプローチの促進」を提案しています。

本イベントは、アジア太平洋諸国がシナジー効果のある行動の促進を通じて、気候変動 (SDGs13)

やその他の関連する環境 SDGs への取り組みを加速させる方法に焦点を当て、政策立案者やその他のステークホルダーが、効果的な実施に向けたインプットを示し、シナジー効果を実現する機会を提供します。

### 主な議題および目的

本イベントでは、以下の点について議論します：

1. アジア太平洋地域におけるシナジー効果を促進するための主な機会と課題は何か？
2. アジア太平洋地域の国々は、シナジーのための確固たる計画と報告の枠組みをどのように構築できるか？
3. SDGs 間のシナジーを生み出すグッド・プラクティスにはどのようなものがあり、どのような教訓が得られるか？

気候変動、生物多様性の損失、汚染という 3 つの危機は、2030 アジェンダ、パリ協定、そして近年合意された生物多様性枠組の達成に依然として障壁となっています。これらの課題を効果的に克服するには、シナジー効果のあるアプローチを採用する必要があります。本イベントでは、アジア太平洋地域の代表的な国やその他のステークホルダーが参加し、シナジー効果のある行動を促進することで、アジア太平洋諸国が気候変動と SDGs に関する取り組みを加速させる方法に焦点を当てます。